

情報検索演習

第1回資料

オリエンテーションと 論理演算とトランケーション

鶴見大学
江草由佳
国立教育政策研究所
yuka@nier.go.jp

今回のおしながき

- オリエンテーション
 - 講義のWebサイトとE-mail
 - 講義ホームページ利用方法
 - 講義の目的・内容
 - 評価方法・指導方法
 - テキスト・参考書
 - USBメモリ
 - サーチャータ試験
 - 講義内容
 - コンピュータ検索の基本
 - 論理演算と論理演算子 (AND、OR、NOT)
- 第1回演習課題:論理演算

講義のWebサイトとE-mail

- 講義のWebサイト
 - <http://momiji.mimoza.jp/lecture/2012/ir/>
 - 講義の資料がある
 - 講義の開始時にお気に入りに追加＋講義資料のダウンロードをすること
- 講義時間外の質問はE-mailで！ yuka@nier.go.jp
 - 使えない人は次回までに使えるようになっていること！
 - パスワードがわからない人は学生証を持って教務課へ

講義ホームページ利用方法 (次回以降の演習準備)

- 講義ホームページ閲覧＋お気に入り追加
 1. Internet Explore を起動
 - “スタート”→“全てのプログラム”→“Internet Explore”
 2. “アドレス” に以下を入力、“Enter”キー
<http://momiji.mimoza.jp/lecture/2012/ir/>
 3. “お気に入り”→“お気に入りに追加”→“OK”
- 講義資料取り寄せ(ダウンロード)方法
 1. リンクの部分の上のマウスポインタを持っていき、右ボタンをクリック
 2. “対象をファイルに保存”を選ぶ
 3. (USBメモリ等の場所を選び、)“保存”ボタンをクリックする
 4. (印刷したい人は)印刷

講義・演習の目的・内容

- 蓄積された大量情報の中から、必要な情報を迅速、的確に検索するための知識を習得する。
- また、各種情報メディアによる検索の特徴と検索システムの構造を理解する。
- 情報検索のプロセスや検索結果の評価方法についても学習する。
- インターネットによる情報検索を実際に演習することにより、検索スキルを習得する。

データベース検索スキルを身につける

評価方法・指導方法

- 評価方法

- 50%:出席＋演習課題の提出結果

- 全て出席することを基本とする

- 50%:最終試験の成績

- 指導方法

- 情報検索の理論についてテキストを使用して解説する。その後演習課題を行う。

- 実際にデータベース検索の演習を通じて、情報検索の基本を身につけられるようにする。

テキスト・参考書

- テキスト

- 原田智子 編著「情報サービス演習」樹村房 2012年6月 ¥2,100
- 講義や演習で使うので必ず毎回持参すること!

USBメモリ利用

- USBメモリを毎回持参すること
 - USBメモリであればなんでもよい
 - 講義の資料、課題の保存のため
 - 保存したファイルは再起動すると消去されるため
 - 他の講義でも利用可能
 - さまざまなファイルの保存に利用できる
- USBメモリとは
 - データを保存するメディア
 - FDよりも大容量、安定している
 - 金額:1,000円前後～
- USBメモリの使い方
 - <http://momiji.mimoza.jp/lecture/2007/QA/#usb>
- USBメモリのはずし方
 - <http://momiji.mimoza.jp/lecture/2007/QA/#usb-exit>

サーチャー(情報専門家)の資格

- 資格

- 履歴書に書ける！（運転免許だけじゃさみしい）
- コンピュータ利用の基本能力があること、情報の専門化をアピールできる

2. 情報検索基礎能力試験

- 受けたい人は江草に連絡
- <http://www.infosta.or.jp/shiken/shikentop.html>
- 参考書：
情報検索の基礎知識_新訂2版発行 B5判 150ページ 定価：2,000円
購入希望者は江草に連絡

3. 情報検索応用能力試験

- 1級/2級

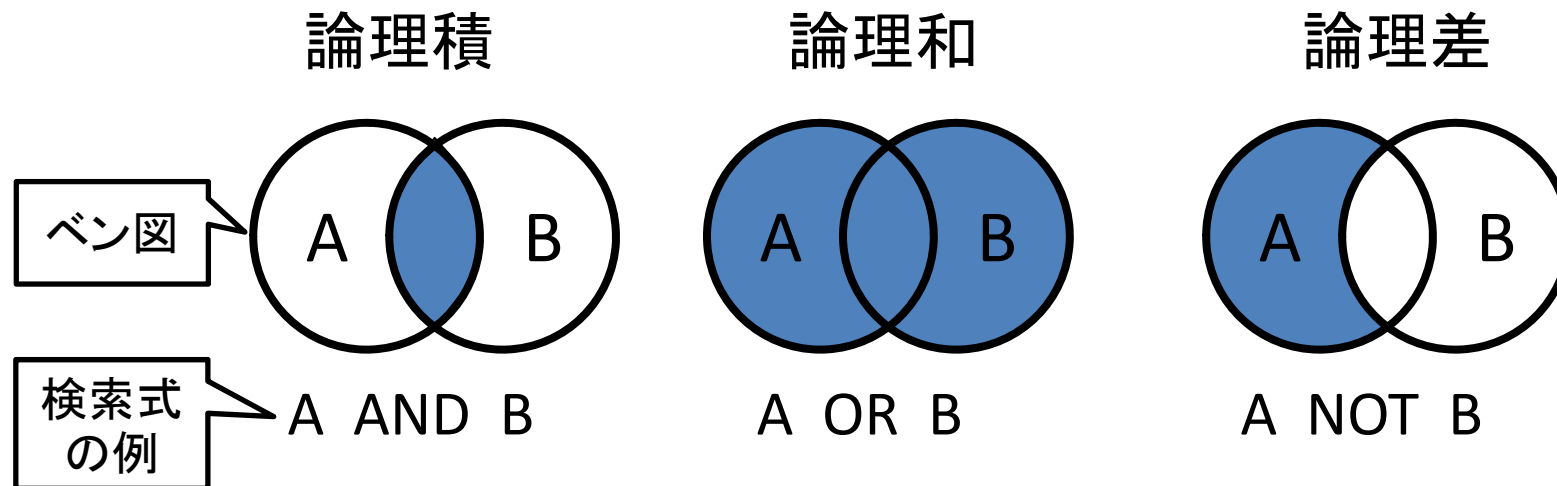
コンピュータ検索の基本

- レファレンスブック
VS
- コンピュータ検索
 - インターネット情報資源
(Web情報資源)
 - CD-ROM
 - DVD-ROM
- 論理演算
- トランケーション

大事なこと：
使おうとする検索エンジン、検索システムで
どのような機能が使用できるのか

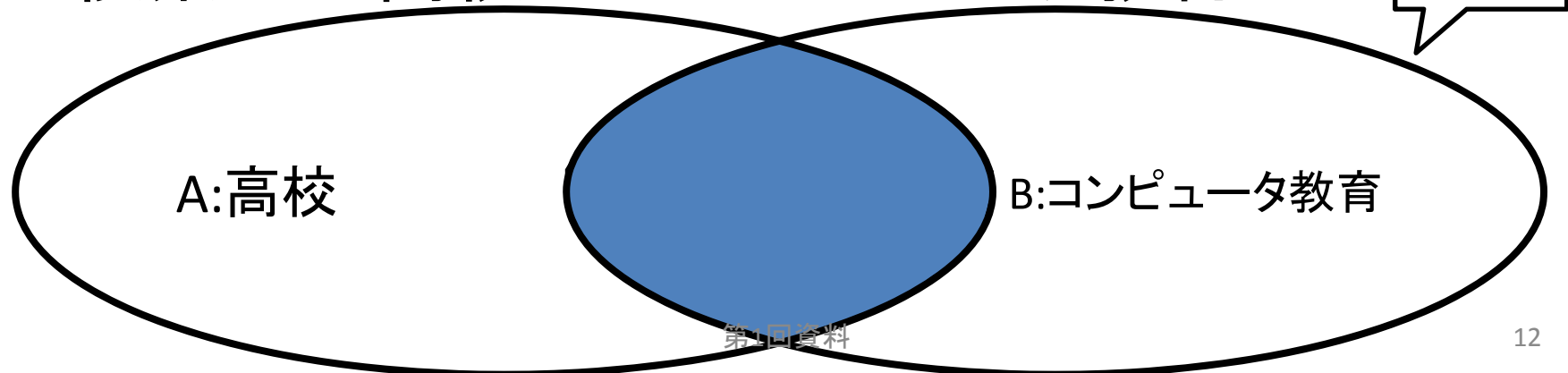
論理演算と論理演算子

- 論理演算
 - 論理積 (AND)、論理和 (OR)、論理差 (NOT)
- 論理演算子
 - 説明ではAND, OR, NOTを使うが、演算子の書き方はシステムによって様々である。



論理積 (AND)

- Aという検索語を持つ情報の集合とBという検索語をもつ集合の両方を含む部分を検索すること
- 情報を絞り込んでいくときに有用
- 例:「高校におけるコンピュータ教育」
- 検索式:”高校 AND コンピュータ教育”



論理積の例：教育 and 情報

「教育」と「情報」の両方を含む

ヒット

高等学校「情報」教員養成におけるメディア・リテラシー教育

ヒット

情報教育に関わる問題—高等学校の情報関係科目の履修の経験による検討

3. 高校生のコンピュータに対する意識調査

4. 高等学校教員免許状取得の現状と課題—教科「情報」の免許状の取得

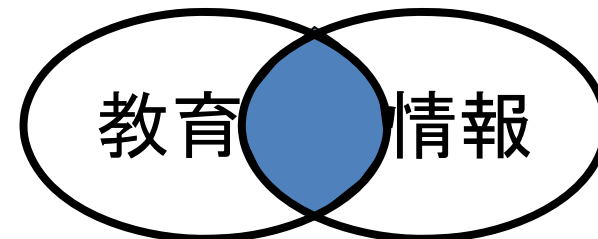
ヒット

高校普通教科「情報」とスキル教育

6. 高校生の情報活用に関する日中比較

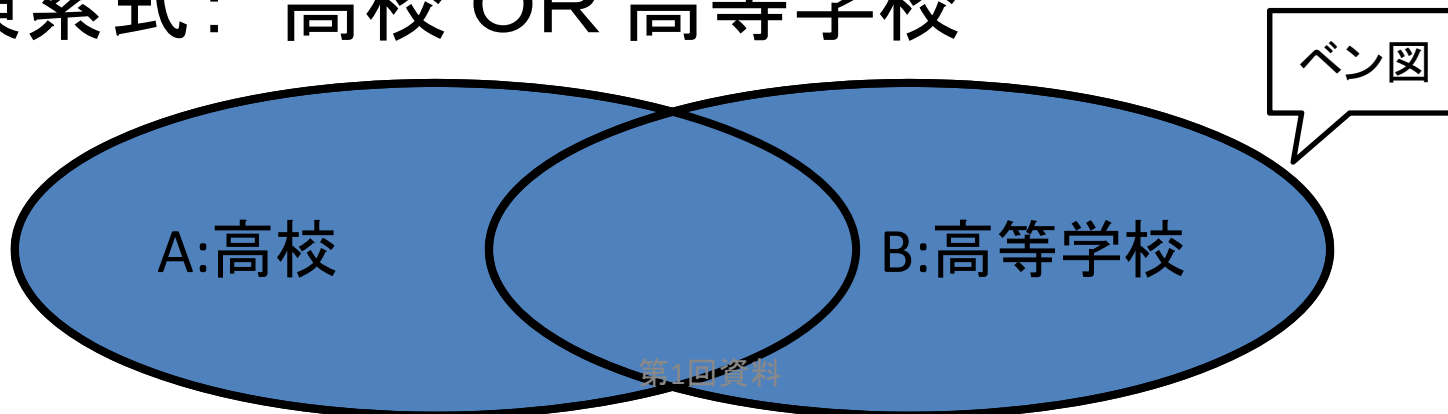
7. 高校教育の多様化-高等学校現場からの報告

8. デジタルメディア利用教授不安の減少と高校生のコンピュータ不安



論理和 (OR)

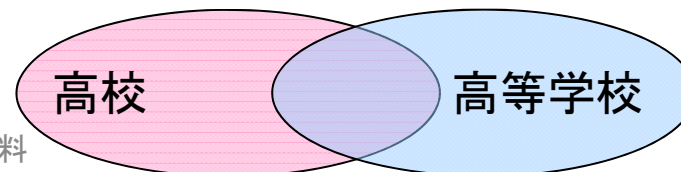
- Aという検索語を持つ情報の集合とBという検索語のいずれか一方の検索語をもつ集合部分と、両方をもつ集合部分全てを検索すること
- 同義語などの検索に有用
- 例: 「高校におけるコンピュータ教育」
- 検索式: "高校 OR 高等学校"



論理和の例：高校 or 高等学校

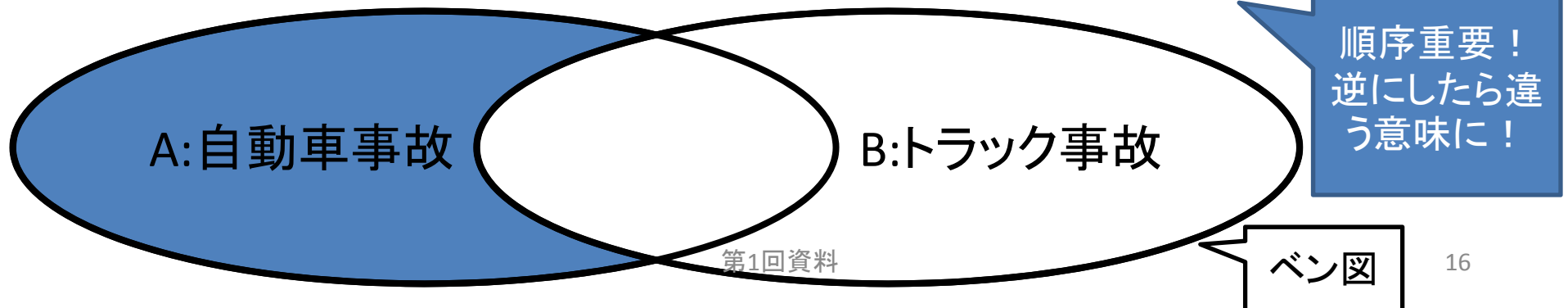
「高校」か「高等学校」のどちらかを含む

- ヒット 高等学校「情報」教員養成におけるメディア・リテラシー教育
- ヒット 情報教育に関わる問題－高等学校の情報関係科目の履修の経験による検討
- ヒット 高校生のコンピュータに対する意識調査
- ヒット 高等学校教員免許状取得の現状と課題－教科「情報」の免許状の取得
- ヒット 高校普通教科「情報」とスキル教育
- ヒット 高校生の情報活用に関する日中比較
- ヒット 高校教育の多様化-高等学校現場からの報告
- ヒット デジタルメディア利用教授不安の減少と高校生のコンピュータ不安



論理差 (NOT)

- Aという検索語を持つ情報の集合からBという検索語をもつ集合部分を除いた部分を検索すること
- 複数の言語で書かれていることはすくないので、ロシア語文献を抜くといった検索に有効
- 例:「トラック事故以外の自動車事故」
- 検索式:”自動車事故 NOTトラック事故”



論理差の例：自動車 not トラック

「自動車」を含みかつ「トラック」を含まない

ヒット

アジアの自動車産業

ヒット

新しい自動車の構造と運転取扱法

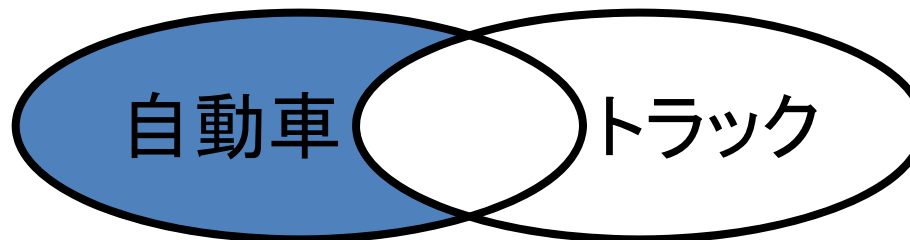
3. 自動3輪トラックの構造と運転

ヒット

アメリカの自動車会社ビッグ3の復活

5. はたらく自動車：トラック・工事用車両

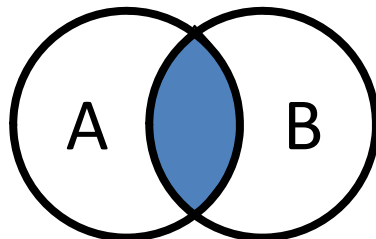
6. 大型トラック・トレーラの安全対策の研究



論理演算と論理演算子

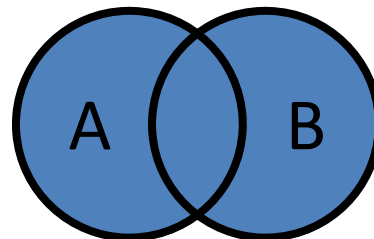
- 論理演算
 - 論理積 (AND)、論理和 (OR)、論理差 (NOT)
- 論理演算子
 - 説明ではAND, OR, NOTを使うが、演算子の書き方はシステムによって様々である。

論理積



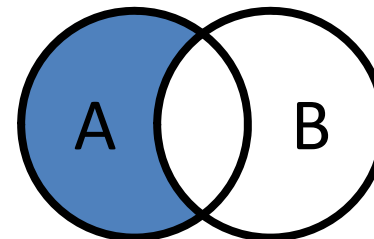
A AND B

論理和



A OR B

論理差



A NOT B

第1回演習課題: 論理演算

- 第1回演習課題を行い、提出しなさい
 - ✖切: 次回の最初に集めます。
 - 第1回演習課題は講義Webサイトにもあります。
 - 学籍番号、名前、提出日を忘れないこと
- この課題のねらい:
 - 論理演算を使った検索式を使ってみて理解する
 - ベン図が描けるようになる
 - 論理積、論理和、論理差の違いがわかるようになる